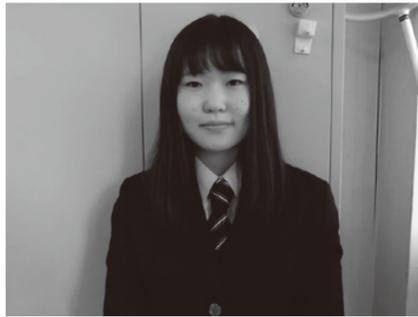


# Funehiki High School News vol.149

～がんばる船高生～  
**ATTENTION!**

## 第29回 大東文化大学に合格 上田 愛未さん

今回は、「大東文化大学 文学部 日本文学科」に公募制推薦入試で合格を決めた上田愛未さん(3年 滝根中出身)に話を聞きました。



▲国語の教員を目指す上田さん

— 受験に際して、大変だったことは何ですか?  
上田さん 小論文の対策です。大東文化大学で過去に出題された問題に類似したテーマを先生に探していただき、書いたものを何度も添削してもらいました。はじめはどう書いていいかわからなかったのですが、指導をしていただいて、与えられた文章をしっかりと読み取ることや、自分の意見をはっきりと書くことができるようになってきました。それでも小論文には正解というものがないので、試験が終わった後も結果が出るまでとても不安でした。

— 合格をした時の気持ちは?

上田さん 公募制推薦入試の前にAO入試を受験していたのですが、その時は不合格だったので、合格したと知った時には本当にうれしくて泣いてしまいました。AO入試で不合格だった時には落ち込みましたが、絶対にこの大学に入りたいという強い思いがあって公募制推薦入試に挑戦しました。不合格から学んだことや成長につながったこともあって、悔しい経験も無駄ではなかったと今は思います。

— 大学に入学したらどんなことが楽しみですか?

上田さん 「どんな人たちと一緒に学ぶことができるのか」ということです。様々な場所から

集まって、同じ分野に興味を持ち、いろいろな考えをもつ人と出会えることを楽しみにしています。

— 将来の夢は?

上田さん 国語教員を目指しています。私は、高校で古典を詳しく学習する中で自分の興味の範囲が広がり、もっと学びたいと考えるようになり、教員になったら、子どもたちの考えをよく聞き取って、苦手な教科の中にもその子の興味が広がるようなはたらきかけをしたいと思っています。

— これから大学を目指す後輩にアドバイスはありますか?

上田さん やりたいことを見つけることだと思います。「私がやりたいことができるのはこの大学だ」と確信していたので、合格まで努力できたと思うからです。やりたいことがまだ見つからない人は、好きだと思ふことに熱中してみるのがいいかもしれません。

### ◆進路講演会

11月19日にふくしま学びのネットワークの前川直哉先生をお迎えし、「君が学ぶと世界が変わる」をテーマに講演会が行われました。30年前の高校生に比べて今の高校生の学習時間が減少しているのはなぜか?という問いを切り口に、勉強すればいい学校、いい会社、いい人生につながるという従来の考え方が崩壊した今、「なぜ学ぶのか?」を考えさせられる機会となりました。「学び、成長するとは、支えられるだけの存在から、だれかを支えられる存在になるということ。今の学びがいずれ必ず、誰かの幸せのためになる」との言葉に、生徒は真剣な眼差しで耳を傾けていました。



▲進路講演会のようす



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...[funehiki-h@fcs.ed.jp](mailto:funehiki-h@fcs.ed.jp)



これまで何度か異なる新年のお祝いを見ました。日本では、新年のお祝いがとても静かで、家族と一緒に過ごす時間を大切にしているように思います。昨年は家族と一緒に大阪で新年を迎えました。夕方に予想していたような雑踏はな

### 新年のお祝い



Garrett Kaufman  
ギャレット・カフマンさん  
(アメリカ合衆国カリフォルニア州出身)  
田村市に来て3年目

く、通りは静かで人通りもまばらでした。アメリカでは、友人たちと集まり夜中まで起きていて、1月1日を迎えようと同時に新年のお祝いをします。2年前はタイで新年を迎えました。バンコクでは、多くの人がレストランや屋上のある建物へ行って新年を祝い、高い場所から街の灯りを楽しみます。これまでに一番印象的だったのは、香港で見た新年のお祝いでした。都市の一部では巨大な花火や華やかなイルミネーション・ショーがありました。大パレードもあり、たくさんの俳優やパフォーマーがいろいろなショーを盛りだくさんで行い、たくさんの食べ物や売られていてとても盛大なお祝いでした。これからのいろいろな国で新年のお祝いを体験することを楽しみにしています。

## 海を越えて 英語指導助手 ペンリレ No. 78

### 新年の始まり



Andy Brubaker  
アンディ・ブルバカーさん  
(アメリカ合衆国オハイオ州出身)  
田村市に来て1年目

明けましておめでとうございませう。新年は世界中で大切な祝日ですが、特に日本とアメリカの両国では大切な祝日です。両国の新年の祝い方に違いはありますが、新しい年に向けて自分の目標を立てるところは似ています。

アメリカ人は、ダイエット、運動、自分自身や自分の周りの人を悩ませる悪習慣を直すことなど生活様式を改善するための目標をよく選びます。個人的には、今取り組んでいてまだ達成できていない目標を引き続き定めるために新年をよい機会にするのです。自分がその目標を達成したい理由や成功させるためのよりよい方法など、新年を自分の気持ちを変えて目標に向

けるためにきつかけにするのでしよう。今年の私の目標は、日本語の学習で理解力やコミュニケーション力、英語をさらに伸ばすことです。しかし、新年の目標を思い出させてくれたり、目標達成の励みを与えてくれるような具体的なものをアメリカ人は持っています。

日本では、願い事をした目標を決めたりするのには用いられる「だるま」があり、目標を達成するまでは一年間を通して形ある物としてその人に目標を思い出させてくれます。私がだるまについて知っていることは、禅宗の開祖である菩提達磨(ぼだいだるま)をモデルとしている赤い座禅像で、目には瞳がなく、空白になっているということです。だるまを買った人は、願い事や望みを書いてから、新年の初めに左の目に瞳を描き、その年に願い事や目標が達成できたら、右

